

箕面駅からハイキング道を自然観察ウォーキング

自然観察をしながらオケ原林道を歩きましょう！約5キロ 健脚向き。4月箕面の山の桜を探そう！5月新緑と春の花や野鳥を観察しよう！4月7日(日)、5月5日(日) 9:30～12:30ごろ

毎月第2日曜は「自然工作教室」の日！ 子どもにオススメ

箕面ビジターセンター講義室で、小さな木の実などの自然素材を使って、自由に工作を楽しみましょう！4月はこいのぼりも作れます。4月14日(日)、5月12日(日)、6月9日(日) A:12時00分～、B:13時20分～

箕面川ダム周遊 自然観察ツアー 黄色い花を見つけよう！

自然解説員と一緒に箕面川ダムの周りを歩きながら、春の野鳥や植物を観察しましょう！春の日差しを感じながら、自然を満喫しよう！4月21日(日) 12:30～15:00ごろ

森の癒しウォーク・ハンモック体験

セラピーアシスターと一緒に、森をゆっくりウォーキング！ハンモックに揺られて森の癒しを感じよう！18歳以上の成人対象。4月27日(土)、5月25日(土)、6月22日(土) 12:30～15:00ごろ

川の中の生き物を探そう！ 子どもにオススメ

箕面ビジターセンター近くを流れる川に入って、川の中にある小さな生きもの(水生昆虫など)を観察しましょう！4月28日(日) 12:30～15:00ごろ

箕面の自然と歴史を楽しむ

観光ボランティアガイドと自然研究路や東海自然歩道をハイキングしましょう！5月:八天石蔵ハイキング 6月:東海自然歩道ハイキング 5月3日(祝)、6月2日(日) 12:30～15:00ごろ

こもれびの森を訪ねて オケ原林道を歩いて野鳥を観察しよう！

さまざまな種類の鳥たちがさえずる季節です。森の中を散策しながら野鳥のさえずりを聞き分けてみましょう。4kmの山道を歩きます。5月19日(日) 12:30～15:00ごろ

ノルディックウォーキングで、箕面の山を健康散策！

初めての人でも気軽に取り組めるフィットネスウォーキング。指導員と一緒にポールを使って歩こう！6月15日(土) 10:00～12:00ごろ

アリジゴクの不思議発見 子どもにオススメ

箕面ビジターセンター展示室周辺のアリジゴクの巣を探して、アリジゴクの不思議を観察しよう！6月16日(日) 12:30～15:00ごろ



【イベント情報】 NPO法人みのお山麓保全委員会のHP: <https://yama-nami.net/> (検索:山なみネット)で、事前申込やご確認をお願いします。

箕面ビジターセンター(政の茶屋園地) 住所:〒562-0001 箕面市箕面1576 Tel:072(723)0649 ■フリーWi-Fi利用できます■

■ 開館時間 : 10時から16時迄(4月から11月の土日祝は9時30分から17時迄)

■ 休館日 : 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月4日) ※施設や駐車場は利用できませんが、入園は可能

【電車ご利用の方】 ※時刻表は変更の可能性がありますのでご確認ください

(1) 阪急箕面線「箕面駅」下車、箕面大滝を經由して徒歩約90分

(2) 阪急バス「箕面萱野駅」乗車、「勝尾寺」下車 徒歩約30～40分

「箕面萱野」停留所「発車予定時刻(勝尾寺方面行)」* 午前の時刻を表示

【特急】勝尾寺、北摂霊園方面行[29]番バス

平日 9:25、11:25 / 土・休日 9:15、10:15、11:15

【直行】勝尾寺行[30]番バス

平日 10:25(12:25) / 土・休日 9:45、10:45、11:45

「勝尾寺停留所」発車予定時刻(箕面萱野駅方面行) * 午後の時刻を表示

【特急】箕面萱野駅、千里中央、阪急北千里方面行[29]番バス

平日 13:18、16:18 / 土・休日 13:04、14:04、15:14、16:48

【直行】箕面萱野駅行[30]番バス

平日 12:23、14:48 / 土・休日 12:29、13:34、14:39、16:00

【マイカーご利用の方】

新御堂筋国道423号を北上、白鳥交差点を左折、箕面浄水場を右折、府道豊中亀岡線を北上(約5km)

箕面萱野駅の誕生で「駅近」となる登山道入口もあり、箕面の森へのアクセスがよくなります。山麓保全委員会のホームページではハイキングマップや登山道の安全情報を掲載しています。事前にチェックして、十分な準備をして遊びに来てくださいね！ NPO法人 みのお山麓保全委員会 Tel/Fax: 072(724) 3615



Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park

明治の森箕面国定公園

箕面ビジターセンターだより

2024年 4月・5月 6月号

季刊 箕面ビジターセンターだより NPO法人みのお山麓保全委員会・大阪府 発行

鳥たちの子育て 春は鳥たちの繁殖シーズンです。オスもメスも交代で抱卵し、卵がかえると食べ物を運びます。この時期の鳥たちの主な食べ物は虫です。葉に隠れているチョウやガの幼虫、ナナフシ、クモなどを見つけたり、飛びながらカゲロウなどの飛翔性昆虫を捉えて食べたり、ヒナに与えたりします。



オオルリ キビタキ シジウカラ エナガ



センダイムシクイ ヤマガラ サンコウチョウ メジロ

いろいろなウツギ 純白の花をたくさんつけるウツギは、様々なチョウが吸蜜に訪れます。旧暦の4月(卯月)に開花期を迎えることから「卯の花」と呼ばれます。(※現代の暦では5月頃、春から初夏にかけて見られます。)ウツギは漢字で「空木」と書き、枝が中空であることから名付けられたとされています。



ウツギで吸蜜するキタキチョウ テングチョウ ヒオドシチョウ

ウツギ以外にも「〇〇ウツギ」という名前の樹木はたくさんありますが、必ずしもウツギの仲間ではなく、枝が中空というわけでもなく、花などがウツギと似ているため付けられたものもありそうです。



ウラジロウツギ バイカウツギ タニウツギ ツクバネウツギ ミツバウツギ

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park

虫たちの生き残り戦略 春になると、たくさんの虫たちも活動を始めますが、昆虫は鳥やカエル、トカゲの仲間など、他の多くの動物たちの食べ物になります。ここでは、捕食者の多い世界で、虫たちが生き残るための様々な生き残り戦略を紹介します。(※虫たちの生存戦略は、その効果を検証するのが難しい面もあり、諸説あります。)

体の色や模様を工夫する幼虫たち

ゴマダラチョウやオオムラサキの幼虫はエノキの葉を食べますが、越冬前に緑から茶色に変化し木から降りて落ち葉の隙間に潜り込みます。春になるとまた木に上り、脱皮をして緑色に戻ります。このように生息環境に溶け込む体色を隠蔽色と言います。また木の枝や葉、樹皮、鳥の糞に体の形や模様を似せる(擬態する)昆虫もいます。

反対に、毒のある虫に似せたり、派手な色で警告する戦略をとる虫もいます。チョウやガの幼虫にも成虫にも見られる目玉模様は、より大きな生き物に見せたり、鳥を忌避させる効果があるようです。



オオムラサキの幼虫



春、脱皮をしたオオムラサキの幼虫



ゴマダラチョウの越冬幼虫



左からツマグロヒョウモン、フラスズメ、イチモンジチョウ。毒のある毛虫のようだがすべて無毒



鳥の糞のようなクロアゲハ



目玉模様のアケビコノハ



枝に擬態するシャクガの仲間

捕食を逃れる行動をとる

捕食者に見つかったときの「最後の手段」として、死んだふり(擬死)する昆虫もいます。ゾウムシの仲間は触れると足を縮めてコロんと落ちます。カメムシやテントウムシ、コメツキムシなどの仲間も擬死します。コメツキムシが胸の筋肉を使ってパチンと跳ねるのも天敵を欺いたり、新たな天敵に見つかる前に一瞬で体勢を戻すためと言われています。



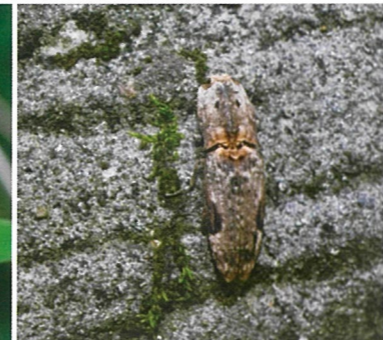
オオゾウムシ



オジロアシナガゾウムシ



シロコブゾウムシ



オオフタモンウバタマコメツキ

開葉から新緑へ 照葉樹と落葉樹が交じる箕面の森では、春から初夏にかけて様々な木々が芽吹き、花が咲きます。それに伴い、山の装いは大きく変化します。



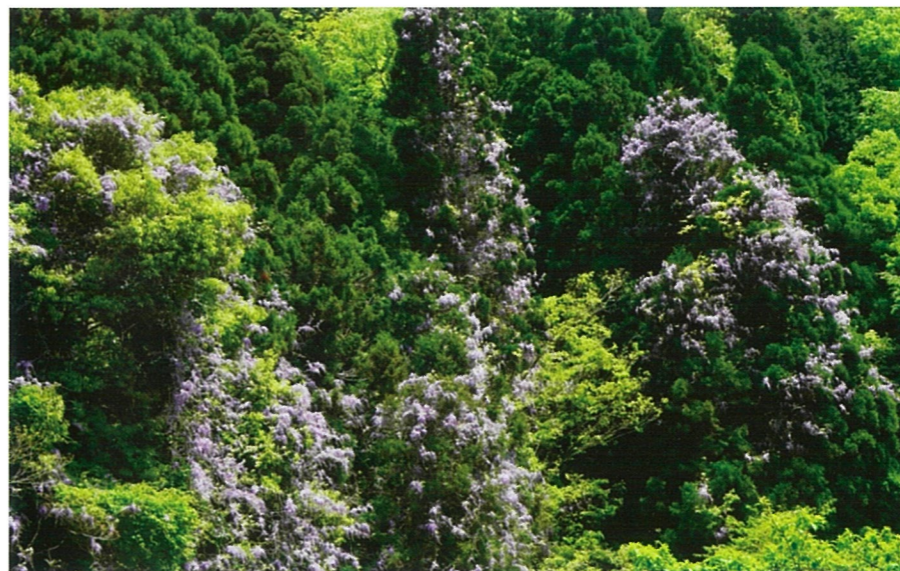
3月末には、冬の間、灰色だった落葉樹が芽吹きます。エドヒガンやヤマザクラが咲き、淡いピンクが入り混じります。



コバノミツバツツジ



ヤマザクラ



4月末になると、林縁にはフジの花が咲きます。開花期は遠目からでもよく目立ちます。



ウワミズザクラ



オオモミジ



5月になると照葉樹であるシイの花が開花します。1つひとつの花は小さく地味ですが、遠くから見ると金色に色づいて見えます。



ノダフジ